



平成 17 年 11 月 18 日

各 位

会社名 株式会社東栄住宅
代表者名 代表取締役社長 佐々野俊彦
(コード番号：8875 東証第一部)
問合せ先 取締役財務部長 柴田英夫
(TEL. 0424 - 63 - 8845)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 9 月 16 日の中間決算発表時に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 1 月期業績予想数値の修正 (平成 17 年 2 月 1 日 ~ 平成 18 年 1 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	151,000	9,500	5,300
今回修正予想(B)	137,000	6,000	3,500
増減額(B-A)	14,000	3,500	1,800
増減率(%)	9.3	36.8	34.0
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 1 月期)	139,303	9,023	5,283

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 127 円 67 銭

2. 平成 18 年 1 月期連結業績予想数値の修正 (平成 17 年 2 月 1 日 ~ 平成 18 年 1 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	152,200	9,580	5,345
今回修正予想(B)	138,100	6,100	3,550
増減額(B-A)	14,100	3,480	1,795
増減率(%)	9.3	36.3	33.6
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 1 月期)	140,079	9,127	5,342

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 129 円 53 銭

3 . 修正の理由

当第3四半期の取組みにつきましては、当社の主力事業である戸建分譲住宅の商品企画の見直しや付加価値の創設等、高品質な住宅供給を主な施策に掲げ利益向上を目指してまいりましたが、競争激化の環境下において当社の業績は、非常に厳しい状況で推移いたしました。

よって当第3四半期までの販売実績及び現時点における今期寄与物件の契約状況ならびに利益率等を総合的に勘案し、前回発表の通期業績見通しを修正いたします。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上